

国保、介護、くらし向きに関わる運動をすすめる、 地域社保協づくりを呼びかけます

アベ政治のもとで社会保障制度がズタズタにされ、格差と貧困が広がり、生きにくい世の中になっています。地域では、一人暮らしの高齢者が増え、“孤立”“生活に追いやられることが懸念されています。

高く払えない国保税、滞納者が増え、厳しい取りたてもおこなわれています。介護保険料は値上げが続き、サービスが抑制されてきました。

国は、“我が事・丸ごと”地域共生社会の呼びかけのもとで、国や自治体がやるべき住民のくらしを守る責任を住民どおしの助け合いに矮小化しようとしています。

地域住民の声、要求を集め、自治体に対して働きかけて行く、そうした運動が期待されています。その母体となる「地域社保協」を是非、皆さんの地域でもつくりましょう。

★橋本・伊都社保協を結成 早速自治体を訪問 3月議会には、介護、国保の請願を提出

昨年12月16日に、橋本・伊都社保協が結成されました。さっそく、各自治体を訪問し、社保協を結成したことを報告し、住民要求に真摯にむきあって頂くよう要請しています。3月議会には、国保と介護で請願を提出しました。橋本・伊都社保協の加盟団体は現在、新婦人、年金者組合、民商、生健会、共産党の5団体です。その後、労働組合や高齢者団体、老人ホームなどに働きかけを行っています。また、財政確保に役立てることも考え、賛助会員（1口500円）を募って34人まで来ました。



橋本市議会へ請願を提出する橋本・伊都社保協

★和歌山市社保協 市長に「国保料を引き下げ」求める要請署名1,240筆を提出

和歌山市社保協は、高すぎる国保料の引き下げを求める署名運動に取り組んでいます。3月26日に、「国民健康保険料を引き下げ、安心して払える保険料にするよう求める要請」署名を市社保協事務局と和歌山民商会長、新婦人と和歌山支部長ら5名で市長宛に提出を行いました。引き続き署名を積み上げるために運動を広げています。

○それぞれの組織で学習会を開催して下さい



年金者組合和歌山市支部の学習会

社会保障、医療、介護など関心のある問題で学習会を開催して下さい。講師は県社保協などから派遣します。

★大東市から講師“元気でまっせ体操”

年金者組合和歌山市支部の学習会で、自治会で体操教室を開くので、地域包括支援センターにお願いしたところ、大阪府大東市から講師をよんで“元気でまっせ体操”のビデオを見たという話が出ました。大東市は“介護からの卒業”で国がモデルに指定している自治体です。NHKクローズアップ現代プラスで放映、「卒業強制」が問題になっています。